

平成26年度 第2回 平塚市図書館協議会 会議記録 【要旨】

開催日時	平成26年8月20日（水） 14時02分～15時51分
開催場所	平塚市中央図書館 ホール
出席者	委員 葛西 裕美子 会長 諸山 朝子 副会長 村山 真由美 委員 加藤 利雄 委員 大河原 将太 委員 小島 明子 委員 事務局 後藤信幸社会教育部長 見留俊也 中央図書館長 池田教正 北図書館長 富田和博 南図書館長 菊坂伸江 奉仕担当長 加藤 祥 管理担当長 山田剛弘 管理担当主管
傍聴人	3名

会議の概要

1 あいさつ 葛西裕美子会長

2 議 事

(1) 事務局からの報告等

【事務局】 資料1「平成25年度平塚市図書館決算報告」を基に説明を行った。

【質疑】 なし

(2) 平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）の策定状況

【事務局】 資料2-1「平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）策定経過と今後の予定」を基に説明を行った。

【質疑】 なし

【事務局】 資料2-2「平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）概要版（案）を基に説明を行った。

【委員】 平塚市の図書館は、過去には子どもの病気など育児に関する資料で定評が高かったが、公共図書館での母親も含めた子どもの利用状況と、保健所などの他の機関との連携状況を伺いたい。もう一つ、今日は学校長の委員が出席しているので伺いすると、学校図書館の児童・生徒の利用状況や図書ボランティアや健康課など他課との連携の利用状況や、どのような本が読まれているかを伺いたい。

【事務局】 公共図書館では、ブックスタートをきっかけに乳幼児連れの子どもの利用が地区館を含めて増えている。例えば赤ちゃん向けのお話し会などは定員を超えて参加の希望があるケースもある。リピーターも多く見かける。読まれている本は、子ども読書フォーラムの講師の本、今年であれば原ゆたか氏の本や、課題図書はリクエストが多く、貸出も多い。

【事務局】 ブックスタートは、健康課などと連携し、保健センターでも実施しており、昨年度から商業施設内にあるつどいの広場「きりんのうち」でも試行している。学校図書館の利用状況は、計画の概要版にもいくつか数値を載せているので参考にさせていただきたい。

【委員】 まず金目中学校の学校図書館の利用状況は、貸出は、図書委員の生徒が対応している。昼休みには15～6名の生徒がそれぞれのスタイルで利用している。以前赴任した頃に比較すると利用は増えていると感じる。選書も、アンケートを実施し、司書教諭や学校司書もその結果を反映させている。取組としては、教科や市の取組である「こころと命のサポート」等との連携や、司書教諭、学校司書、図書ボランティアが一体となって協力しあい、毎

月本の展示やディスプレイを変えるなど工夫をしている。その他に、教育課程にはないが、自主事業として、朝読書を実施しており、例えば野球部の生徒であれば、野球の本ばかり読んでもかまわないとして、生徒の自主性に任せている。

他にも事業としては、生徒が絵本を製作し、これを使用して、隣接する金目幼稚園の園児に読み聞かせを行ったこともある。

これらは、中学校の教職員の指導の結果よりも、ボランティアを含めて学区内の金目小学校とみずほ小学校がともに読書活動が盛んであることが大きな要因だと思う。

【委員】 小学校の学校図書館は、昼休み、中休みは貸出の利用。授業中は調べ物学習など教科と連携した利用がなされており、他の特別教室と比較しても活用されていると思う。前任の金目小学校では、空き教室を転用した調べ物用の図書室を活用した教科との連携。今の神田小学校では、隣接した県立湘風高校のボランティア部が、学区内の神田幼稚園や大神美里幼稚園の園児も含めて、児童に読み聞かせを行う。読書会などを実施するという取組を行っており、他校も以前に比較して読書活動の取組を充実させている。

【委員】 金目地区の事例のように、小学校から中学校での取組が継続して、読書が習慣となることが大事だと思う。初めて聞いた話も多いが、特に学校図書館から素晴らしい取組事例を聞いて大変参考になった。さらに情報共有すべきだと思う。

【委員】 第二次計画の策定委員会委員として、子ども読書活動推進事業が、今委員から話があったように充実していることは大変喜ばしい。そのため計画名称や基本目標などは大きく変更する必要はないと思う。ただ、今の時代は読書だけが情報の入手手段ではなくなっている。読書という行為よりも、読書を通じて情報処理能力を高めることが大事。そういう意味で、他市の子ども読書活動推進計画では、「豊かな心」といった言葉を最初に掲げるが、「考える力」を最初に掲げることは良いと思う。また、「単に本を読め」では駄目。例えば図書館でも三館コラボなどの連携事業を行っている。こうした連携を増やして欲しいと思う。さらに付け加えると新たな学校運営図書館支援策は、指定管理運営の海老名市有馬図書館の学校図書館支援センターの事例があったが、これは良いとしても直営でおこなって欲しい。

【委員】 妊産婦に向けた読書活動の啓発があったが、これが素晴らしい。子育ての経験から、妊婦の期間中に会っていたらという本が沢山ある。こうした本を勧めることができたらと思う。もうひとつ提案があって、図書館で赤ちゃん向けの絵本を借りた後、自宅でその本を置く場所を確保するのが一苦勞である。そこで、初めて父親になる方に向けて赤ちゃんのために図書館で借りた本を置く本棚を作ることを勧めるなどの啓発をしてはどうか。

【委員】 自分は、祖父の影響で本が好きになった。今後、少子化や女性の社会進出で、祖父母が子育てに関わる機会がさらに増えていくと思う。概要版(案)でも記述があるが、具体的な方策など、もう少し記述があると良いと思う。

【事務局】 本市では、県の指標である中学校の一斉読書の実施割合が県平均と比較すると低い

【委員】 が、学校現場から要因と意見を伺いたい。

子どもの読解力に差があるので、同じような本を読ませるような一斉読書は疑問である。本来は、子どもの読解力や興味に応じた取組を指標にすべきだと思う。

(3) 学校図書館と公共図書館の連携策の検討

【事務局】 資料3-1「学校司書を対象に行った学校図書館の業務に関するアンケートの集計結

果報告」資料3-2「学校司書を対象に行った学校図書館の業務に関する自由記入部分の集計結果」資料3-3「学校司書を対象に行った学校図書館の業務に関するアンケート用紙」を基に説明を行った。

【委員】 沖縄県那覇市の学校図書館の取組を参考に学校図書館の運営マニュアルの作成の希望があったが、こういったものを作成する考えはあるのか。

【事務局】 公共図書館の立場で学校図書館のマニュアルを作成するのは難しいと考えている。ヒント集や事例紹介といったもので対応できればと思う。

(4) 今後の図書館運営

【事務局】 資料4「平塚市周辺都市の公共図書館の委託状況」を基に説明を行った。

【委員】 近隣市の公共図書館の窓口業務の委託が進んでいるという印象を持った。

【事務局】 本市図書館が積極的に行っている図書館体験やインターンシップなどの受入は、効果は見えにくいという説明があったが、公共図書館は、指標にはできない将来の人材育成という役割を担っていることを補足する。

【委員】 確かに、指定管理や窓口業務委託の場合、人材育成機能は消失すると思う。

(5) (仮称)平塚市図書館振興基金の検討

【事務局】 資料5-1「平塚市周辺市町の図書館振興基金の実施状況」と、資料5-2「平塚市図書館振興基金(案)」を基に説明を行った。

【委員】 二宮町の事例を参考にすると、本市でも歳入として一定の額は見込めると思う。ただし、若干上昇はしているが、今後も低金利が続くことを考えると大口の寄付がない限り、それ以上は難しい。この基金は、図書館のために別会計にすることは可能なのか。

【事務局】 可能ではあるが、二宮町の例のとおり、これまでの図書館の予算を基金から充当され、総額は変わらない可能性もありうる。

【委員】 寄附者の意向に叶うように使途を限定するなどし、ぜひ進めてもらいたい。

(6) 次期図書館協議会の委員構成(案)

【事務局】 資料6「次期図書館協議会委員の構成(案)」を基に説明を行った。

【委員】 この案で良いと思う。既に校長会には打診しており、反対の意見は全くなかった。

【委員】 大学図書館と学部との連携は、普段はあまりないため、推薦依頼にあたっては、市側から要望を十分伝えた方が良いと思う。

【事務局】 御理解と御協力に感謝する。この案で進めたいので、今後とも協力をお願いする。

【会長】 最後に社会教育部長からひとことお願いする。

【事務局】 平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)の概要版(案)として示している4つの新たな事業展開として例示した「妊産婦等に向けての読書活動啓発」「読書を効果的に活用した取組の推進」「子ども読書活動の推進体制の見直し」「新たな学校図書館支援策」なども含めていまだにたたき台の段階であると認識している。他にも、各中学校区子ども読書活動推進協議会で継続が難しくなっている協議会

への対応や、また図書館振興基金（案）を子ども読書活動に用途を絞った提案なども必要かと思う。

本日いただいた学校図書館の充実の事例紹介や計画に対する具体的な御意見も踏まえ、今後も様々な御意見や協議をいただき、計画を煮詰めていきたいと考えているので、御協力をお願いしたい。

3 その他

【事務局】 次回の協議会は12月25日（木）14：00から、この中央図書館で開催を予定している。

【会長】 閉会を告げた。

以上